

四、水力地點 選定水力地點ナシ許可水力地點ハ支流ヲ除キ總計三地點八、二五六馬力最大九、九六三馬力ニシテ内發電ヲ開始セルモノ二地點一、三四六馬力最大一、六七一馬力トス

第二十章 太田川水系

第一節 概説

(安佐郡可部町以上)

地形 本流域ハ安藝ノ西部ニ位シ佐伯山縣安佐ノ三郡ニ亙リテ其ノ形三角形ヲナシ面積七三八二方里ヲ占ム。其ノ一角ハ東南ニ向ヒ西北ノ一邊ハ中國山脈他ノ二邊ハ其ノ支脈ヲ以テ圍繞セラレ其ノ最高キハ西北ノ一邊ヲ形成セル連山ニシテ海拔一、〇〇〇米ヲ超ユ其ノ他ニアリテハ概ネ五〇〇米乃至六〇〇米ノ間ニアリ。川ハ西南ノ一隅ヨリ發シテ東北ニ向ヒ中國山脈ニ發シテ南流スル柴木川ヲ合セ右三角形ノ中央加計町ニ於テ中國山脈及其ノ支脈ヨリ發スル瀧山、丁ノ二川ヲ合シ東南ニ轉シ東南隅可部町ニ至ル。此ノ間概ネ山勢急峻ニシテ平地少キモ本川竝支川ノ上流地方ハ臺地ヲナシ山勢緩ニシテ谷開ケ田野展

開ス 地質 支川柴木川、瀧山川及丁川ノ流域ニハ斑岩ヲ露出シ本川上流地方ニハ秩父古生層ヲ見ルモ他ハ概ネ花崗岩ヨリ成ル

地目面積表

河川名	地目		山林地				合計
	耕地	原野	針葉樹林	闊葉樹林	針闊混	清樹林	
太田川	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
(行梨淵水所以上)	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	
同	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	面積(方里)	
同	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	同 百分率	

就中高津川ト其ノ流域ヲ割スル五里山系ノ如キハ山深クシテ未タ人跡ヲ見サル所アリ針闊混森林ハ流域全般ニ亙リテ雜木ニ松樹ヲ交ヘ針葉樹林ニハ松樹多キモ戸河内村、加計町附近ハ核櫨ノ植付盛ナリ。耕地ハ本支川ノ上流部ニ展開シ下流部ニハ極メテ少シ

氣象狀態 雨量ハ下流廣島附近ニ於テ一、五〇〇耗内外ヲ算シ山間部ニ至ルニ從ヒ漸次ニ之ヲ増加シ西部地方ニテ二、〇〇〇耗北部地方ニテ最大二、五〇〇耗ヲ示ス。氣温ハ下流部ニ於テ平均一五度内外ニシテ山間部ニ至リ漸次低下シ安藝北部ニ於テハ一〇度内外ニ達ス

第二節 太田川

一、河川狀況 水源ヲ流域ノ西部ニアル燒山附近ニ發シ吉和村地方ヲ東北ニ流レテ戸河内村ニ至リ此處ニ北方大佐山附近ヨリ來ル柴木川ヲ容レ尙東北ニ向ヒテ加計町ニ至リ北方ヨリ瀧山、丁ノ二川ヲ合セ急ニ東南ニ轉シテ屈曲甚タ多ク右岸ヨリ水内川左岸ヨリ西宗川ヲ容レ途ニ可部町附近ノ平野ニ出ツ。此ノ流路約二一里トス

水源ノ溪流ヲ脱シ吉和村ノ中央ヲ流下スル附近ハ谷開ケ河床勾配緩ク多ク砂礫ヲ以テ埋メラルルモ大字駄荷附近ヨリ兩岸ノ山勢愈迫マリ戸河内村ニ入ルヤ兩岸屹立セラル深溪ト成リ屈曲勾配ヲ増加ス河床多クハ岩盤ナリ、大字本郷以下稍勾配ヲ減シ沿岸諸所ニ耕地ヲ見ルモ兩岸交々山迫リテ斷崖或ハ急傾斜ヲ成セル所多ク流路ノ屈曲益甚シク河底各所ニ岩盤ヲ露出ス。而シテ流域内ニ於ケル地

質林野狀態等ハ第一項ノ如キヲ以テ四時水清ク土砂ノ流出少ク出水ニ際シテモ流量ノ變化割合ニ少シ

流量ハ一般ニ夏季最濁水ヲ來シ秋季モ稍濁水ニ近ク冬季ハ概ネ平水ヲ保チ春季ニ高水多シ而シテ最大洪水ハ夏季七、八月頃ニ起ルヲ普通トス

水力ヲ利用シ得ヘキ範圍内ニ於ケル河川勾配左ノ如シ

- 自岩川合流 至廣瀨橋 (約 一里) 五〇分ノ一
- 自吉和、戸河内村界 至戸河内村字打梨 (約 一里) 五四分ノ一
- 自戸河内村字打梨 至柴木川合流 (三、二四〇間) 六二分ノ一
- 自柴木川合流 至瀧山川合流 (七、〇九〇間) 一一七分ノ一
- 自瀧山川合流 至水内川合流 (五、九三〇間) 一八三分ノ一
- 自水内川合流 至吉山川合流 (七、六〇〇間) 二五四分ノ一
- 自吉山川合流 至廣島電燈放水口 (七、〇八〇間) 三八八分ノ一
- 自吉山川合流 至廣島電燈放水口 (七、〇八〇間) 三八八分ノ一
- 二、水利及治水 本川上流部ニハ耕地稍多ク之カ爲ニ水

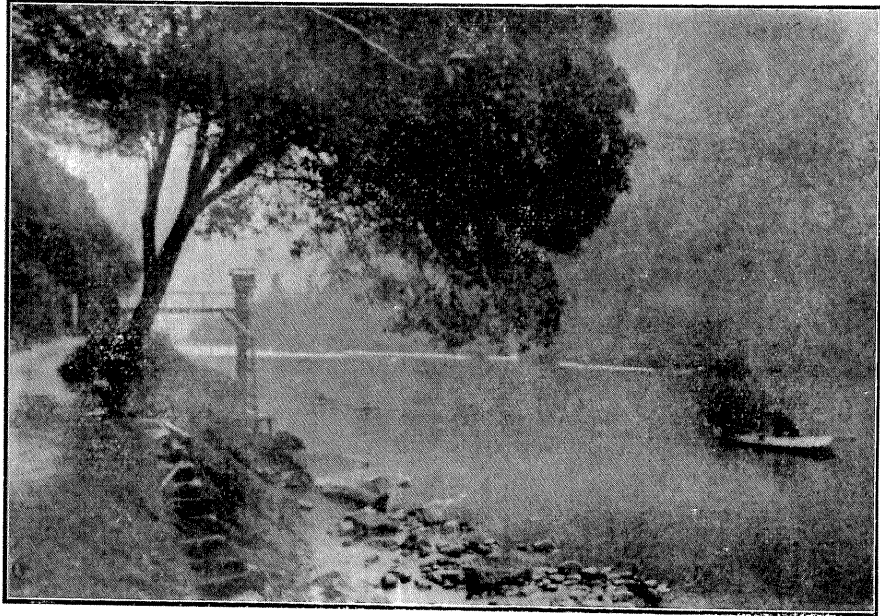
太田川流量表

香草測水所大正十年流量、大正十一年一月一日ヨリ四月十四日迄ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノナリ

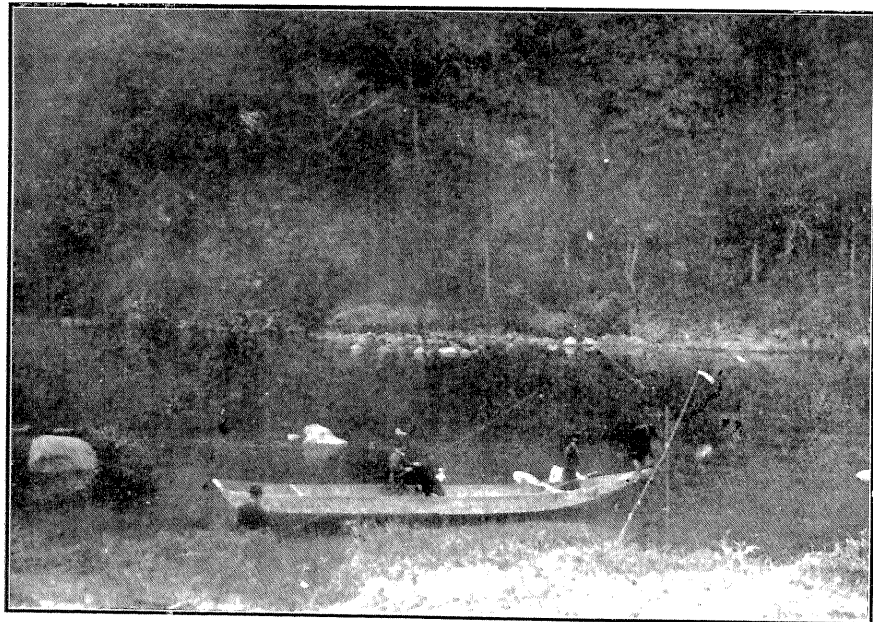
順位	番順位	河川	測水所	流域積域	流 量						流域一方里當流量					
					年次	最大	平水	低水	濁水	最小	最大	平水	低水	濁水	最小	
二七八	六五	太田川	廣島縣山縣郡戸内村打梨	九二四	大正八年 二二〇〇	一七	一七	一八	七三	六六	二二九	二二三	二二八	七九	七二	
					大正九年 四、八〇〇	一七六	一七六	一八	七〇	六三	四七四	一九〇	二二八	七六	六八	
					大正十年 五、二〇〇	一八六	一八六	二六	六	六	五六四	二〇二	二二六	八四	七四	
					大正十一年 三、八〇〇	一八六	一八六	二七	七四	四	四一六	二〇一	二二七	八〇	四九	
					平均	一八六	一八六	二七	七四	四	四一六	二〇一	二二七	八〇	四九	
二七九	一	同	廣島縣山縣郡加計町	四九二	大正十年 一七、四〇〇	七九	七九	五三	三五	二九九	三八八	一七六	二一六	七九	六七	
					大正十一年 三、二〇〇	一〇九〇	一〇九〇	一〇九	四六	一七五	五〇三	一七五	二一六	七九	六七	
					大正八年 一六、九〇〇	一三〇〇	一三〇〇	七九〇	五〇六	四四五	二七二	一八六	二二七	八一	七三	
					大正九年 二二、八〇〇	九七五	九七五	六三五	四二	三四九	三五〇	一五九	二〇二	六八	五六	
					大正十年 三三、八〇〇	一〇八〇	一〇八〇	六七〇	四七二	三〇六	三六六	一七三	二〇七	七六	四九	
					大正十一年 三六、六〇〇	一〇九〇	一〇九〇	六九六	四六	二〇九	五八七	一七五	二二二	七五	三四	
					平均	一〇九〇	一〇九〇	六九六	四六	二〇九	五八七	一七五	二二二	七五	三四	
二八〇	一	同	廣島縣安佐郡久地村	六二六	大正八年 一六、九〇〇	一三〇〇	一三〇〇	七九〇	五〇六	四四五	二七二	一八六	二二七	八一	七三	
					大正九年 二二、八〇〇	九七五	九七五	六三五	四二	三四九	三五〇	一五九	二〇二	六八	五六	
					大正十年 三三、八〇〇	一〇八〇	一〇八〇	六七〇	四七二	三〇六	三六六	一七三	二〇七	七六	四九	
					大正十一年 三六、六〇〇	一〇九〇	一〇九〇	六九六	四六	二〇九	五八七	一七五	二二二	七五	三四	
					平均	一〇九〇	一〇九〇	六九六	四六	二〇九	五八七	一七五	二二二	七五	三四	

量ヲ引用セラルルコト少カラサレトモ森林状態良好ナルヲ以テ大ナル涸渴ヲ來サス。本川ニ於テ流水ヲ利用スルモノハ主トシテ流材ニシテ之カ運行為隨時ニ行ハルレトモ春季又ハ冬季ヲ最多トシ本郷ニ於テ筏幅一〇尺長サ一八間内外ニ編成シ廣島市ニ流下スルヲ普通トス而シテ材種ハ多ク栗松杉等ノ二間材ニシテ年流下數量ハ下ノ如シ

加計町ヨリ上流 約二〇、〇〇〇、〇〇〇才
 加計町ヨリ下流瀧山川、丁川ヲ含ム 約二一、〇〇〇、〇〇〇才
 水内川合流川井ヨリ下流 約二二、八〇〇、〇〇〇才
 西宗川合流澄合ヨリ下流 約二四、八〇〇、〇〇〇才
 鈴張川合流宇津ヨリ下流 約二五、八〇〇、〇〇〇才



（標水量記自）所水測葉ノ鹿川田太系水川田太



（水測上舟）所水測草香川田太系水川田太

上殿村ヨリ廣島市ニ至ル約一五里ノ間ハ河舟ヲ通スレトモ主トシテ加計川井澄合、宇津等ヨリ流下スルモノ多シ物資ハ主ニ薪炭ニシテ舟ハ俗ニ三間舟ト稱スル長サ三四尺、幅五尺五寸、平水時ニ於テ四〇〇貫、濁水時ニ於テ一六〇貫ノ積載量アルモノヲ使用ス年下航數ヲ取調フルニ略左ノ如シ

上殿村、加計町附近ヨリ下流 二、〇〇〇艘

水内川合流(川井)ヨリ下流 五、六三〇艘

西宗川合流(澄合)ヨリ下流 七、五一〇艘

鈴張川合流(宇津)ヨリ下流 九、六七〇艘

漁業ハ鮎ヲ主トシ其ノ産額多ク其ノ他惡水治水事業等ノ關係ナシ

水力ノ利用ニアリテハ上流戸河内村ニ大阪合同紡績株式會社ノ許可水力地點一、下筒賀、加計町ノ間ニハ太田川水

力電氣株式會社ニ屬スル地點一及水内村ヨリ久地村ニ至ル屈曲部ニハ出雲電氣株式會社ニ屬スル許可地點アリ又下流龜山村地内ニハ廣島電燈株式會社ニ屬スル發電所ヲ有ス

三、水力地點 選定水力地點數五、其ノ平水時ニ於ケル馬力數三三、四四一ニシテ其ノ内三箇地點ハ本調査期間中ニ於テ水利使用ヲ許可セラレタルヲ以テ將來利用開發シ得ヘキモノハ二地點ニシテ其ノ平水馬力數六、四〇七ニ過キス。今之ニ許可水力地點(支流ノ地點ヲ除ク)ヲ加算スルトキハ本川ニ於ケル總水力地點數六、其ノ馬力數二六、三二〇ヲ算ス

水力地點ノ說明
順位一、〇七二 右岸ニ取入口ヲ設ケ大部分開渠ニ依ル用水ノ關係ナシ

太田川 水力地點表 順位ニ(一)ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	水路長	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
一〇七二	太田川	番外一	廣島縣佐伯郡吉和村 駄荷岩川	同 郡吉和村 下山廣瀬	湯水 四一 低水 六六 平水 一〇四	二四七	一、二二四 一、八一〇 二、八五一	二、〇七〇	五、一六	一〇〇・〇 九五・〇 八三・〇	一、三三三 一、〇一〇 二、三六六	甲

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	流域積	能發電	年平均馬力數	等級
一〇七三	太田川	番外二	廣島縣山縣郡戸内村小原	同郡戸内村打梨向山	湧水 六六 低水 一〇五 平水 一六六	一九三	一四一四 二二四九 三五五六	一三六〇	八六六	一〇〇〇 九五〇 八三〇	一四一四 二二四九 二九五二	甲
一〇七四	同	一	廣島縣山縣郡戸内村打梨	同郡吉和流田	湧水 七四 低水 一一七 平水 一八六	二三五	一九三〇 三〇五二 四八五二	一四三〇	九三四	一〇〇〇 九五〇 八三〇	一九三〇 二六九九 四〇二七	甲
一〇七五	同	二	廣島縣山縣郡敷賀村 箇賀 西高下	同郡加計町 加計 辻ノ河内	湧水 一八〇 低水 二八五 平水 四四二	二二三	四二五六 六七三八 一〇、六八七	二二六〇	三二四七	一〇〇〇 九五〇 八三〇	四二五六 五五〇一 八八七〇	甲
一〇七六	同	三	廣島縣佐伯郡水内村 下津伏	安佐郡久地村 鹿巢	湧水 四一四 低水 六一八 平水 九六六	一一九	五四六九 八、一六三 一一、四九五	二二七〇	五五二三	一〇〇〇 九五〇 八三〇	五四六九 七、七七九 九六三三	甲

順位一、〇七三 右岸ニ取入口ヲ設ケ隧道約三〇〇間開
渠約一、〇八〇間ヲ開鑿ス用水ノ關係ナシ

順位一、〇七四 左岸ニ取入レ河川屈曲ヲ利用シ隧道約
一、二九〇間開渠約二三〇間ヲ開鑿ス關係用水一箇所ニシ
テ約五個ヲ引用シ三九町歩ノ水田ヲ灌漑スルモノアルノ
ミ(其ノ一部分ハ大阪合同紡績株式會社ニ許可)
以上ノ三地點ハ何レモ其ノ兩岸ノ山勢急峻ニシテ交通

ノ便開ケス且流木甚タ多ク隨時行ハルルヲ以テ之カ流下
ニ對スル設備ヲ必要トス然レトモ地點附近ハ上下流ヲ通
シテ河床狀態惡シク流木作業困難ナルヲ以テ現今開鑿工
事中ナル里道ノ開通スル曉ハ其ノ大部分ハ陸運ニ依ルナ
ルヘシ

順位二、〇七五 専ラ河川ノ屈曲ヲ利用スルモノニシテ
右岸ニ取入レ開渠延長約一、二一〇間、隧道延長約一、〇五〇

間トス用水ハ約二四個ヲ引用シ二九〇町歩ノ水田ヲ灌漑
スルモノアリ利用ニ際シテハ殆ト限定ノ餘地ナシ(太田川
水力電氣株式會社ニ許可)

順位一、〇七六 同シク河川ノ屈曲部ヲ利用スルモノニ
シテ右岸ニ取入レ半ハ隧道ニ依リ半ハ開渠ニヨリテ導水
ス用水關係ナシ(出雲電氣株式會社ニ許可)

以上ノ二地點ニハ沿川道路開通シ山勢著シク急峻ナラ
サルヲ以テ工事ノ施行及諸材料ノ運搬等容易ナルモ舟筏
ノ流行盛ナルヲ以テ之ニ對シ特別ノ方法ヲ講シ又魚族ノ
湖河ニ對シ支障ナカラシムルヲ要ス

第三節 柴木川

一流域 地形 本流域ヲ海拔高ニヨリテ區分スレハ左
ノ如シ

海拔高	以下	自四百米	自四百米至七百米	自七百米至千三百米	自千三百米至千六百米
面積(方里)	一	〇・一五	一・〇三	五九一	一〇〇
同百分率	一	一・九〇	一二・七四	七三・〇〇	一二・三六

本川ハ太田川ノ上流ニ於テ左岸ヨリ流入スル支流ニシ
テ其ノ流域ハ山縣郡八幡戸河内ノ二村ニ跨リ地勢北方ニ

地目面積表

河川名	地目		山林地				合計
	耕地	原野	針葉樹林	闊葉樹林	混交樹林	計	
柴木川	〇壘	一三三	〇二二	五三二	〇六六	六三三	八〇九
同百分率	六・八〇	一三・三〇	一・五〇	五三・三〇	二・九〇	七〇・五〇	一〇〇・〇〇

高ク南方ニ傾斜シ面積八方里ヲ占ム。西ハ中國山脈、東ハ
其ノ支脈ヲ以テ圍繞セラレ其ノ最高峰ハ海拔一、〇〇〇米
ヲ超ユ而シテ北方分水嶺ヨリ海拔約六〇〇米ニ下ル迄ハ
山勢緩ニシテ臺地ヲ成シ谷開ケ田野展開ス六〇〇米以下
ノ地區ニ於テ山勢高峻ノ狀ヲ呈シ沿川深溪ヲナシ平地少
シ
地質 主トシテ斑岩ヨリナリ下流部ニ至リテ花崗岩露
出ス
林野狀態 上流部ハ耕地多ク林況多少劣レルモ中流部
以下ハ人煙稀薄然モ交通不便ナルヲ以テ林野狀態概シテ
良好ナリ

二河川狀況 水源ヲ大佐山附近ニ發シ八幡村地方ヲ南
ニ向ヒ戸河内村ニ於テ南方ヨリ來ル横川川ヲ合シ東南ニ
轉シテ柴木ニ至リ左岸支流板ヶ谷川ト合シ南ニ向ヒテ本
郷ニ至リ太田川ニ投ス此ノ流路約六里トス

上流部ハ臺地ヲ流ルルヲ以テ兩岸開ケ谷淺ク甚タ緩流ナルモ檜床附近ヨリ柴木ニ至ル流路約三里ノ間ハ兩岸絕壁ヲナシ谷深クシテ屈曲ニ富ム河岸河床ニハ岩盤ヲ露ス所多ク流下勾配急ニシテ平均三〇分ノ一ヲ有ス

本川ニハ測水所ヲ設定セテリシヲ以テ流量ノ變化ハ之ヲ詳カニスル能ハサルモ瀧山川ニ於ケル變化ト大差ナキモノト認ム

柴木川 水力地點表

順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	面積	能發電率	馬力數	等級
(一〇七七)	柴木川	四	廣島縣山縣郡戸内村柴木鐵道	同郡戸内村遊谷野爲	湯水 四八 低水 七一 平水 一一一	五八五	三、一七 四、六一〇 七、二〇八	二六〇〇	五、六七	一〇〇〇 九、五〇 八、四〇〇	三、一七 四、三九六 六、〇五五	甲

水力地點ノ説明

順位一、〇七七 専ラ河川ノ屈曲ヲ利用スルモノニシテ右岸ニ取入レ隧道延長約一、四五〇間開渠延長約一、二三〇間トス用水ナシ流木ハ専用道路ヲ開鑿シ之ニヨリテ搬出セシムルヲ可トス

第四節 瀧山川、雄鹿原川

本川ハ太田川ノ北部流域ヲ占ムル支流ニシテ山縣郡山

海拔高	面積(方里)	同百分率
以下	〇・四二	一
自百至四百米	八・五一	二・五〇
自四百至七百米	七・二九	五・〇八五
自七百至一千三百米	〇・五二	四三・三五五
自一千三百至一千六百米	三・一〇	一

一流域 地形 本流域ヲ海拔高ニヨリ區分スレハ左ノ如シ

廻中野、雄鹿原、戸河内及加計ノ一町五村ニ跨リ面積一六七四方里ヲ占ム。北方ハ中國山脈ヲ負ヒ其ノ支脈南ニ走リテ中央ニ瀧山本流、西部ニ雄鹿原流域面積五五二方里、東部ニ大暮流域面積四・四五方里ノ三川流域ヲ區劃ス共ニ一、〇〇〇米内外ノ連山ニ圍繞セラレ以下約五〇〇米ニ下ル迄ハ山勢緩ニシテ臺地ヲ成シ田野展開ス五〇〇米以下ノ地區ニ於テ山勢高峻ノ狀ヲ呈シ三川ハ茲ニ相會シ瀧山川本流トナルヤ河岸益急峻ナリ

地目面積積林

河川名	耕地		山林地		合計
	宅地	原野	針葉樹林	闊葉樹林	
瀧山川	二六六	一八六	一八〇	五三〇	二、一四一
(面積方里)	一・八〇〇	一・八六〇	一・三三〇	四・三三〇	一五・六〇〇
(同百分率)	一一・一	一一・二	八・三	二七・二	一〇〇・〇

〇ばいせんとハ樹林ニシテ就中闊葉樹林最多ク栗、櫟等密生シテ良好ナル林況ヲ呈ス針闊混濟林ハ流域全般ニ互リテ松樹ニ雜木ヲ交ヘ針葉樹林ニハ松樹多ケレトモ杉、檜ノ植林亦盛ナリ

二、河川狀況 瀧山川ハ其ノ源ヲ雲月山、高杉山等ノ南麓ニ發シテ中野村地方ヲ東南ニ向ヒ平見谷ニテ左支大暮川ヲ容レ西南ニ轉シテ檜谷ニ至リ右支雄鹿原川ヲ合シテ屈曲南流シ加計町ニ至リテ太田川ニ投ス此ノ流路約八里トス

雄鹿原川ハ大佐山附近ニ發源シテ雄鹿原村地方ヲ東南ニ向ヒ橋山ニ於テ右支松原川ヲ合セ檜谷ニ至リテ瀧山川ニ合ス此ノ流路約四里ナリ

瀧山川ノ上流部ハ臺地ヲ流ルルヲ以テ兩岸開ケ谷淺ク甚タ緩流ナルモ川小田附近ヨリ下流ハ谷迫リ河岸絶壁ヲナシテ高ク河床ニ岩盤多シ流下勾配ハ川小田、檜谷間約二里半(五〇分ノ一)、檜谷、加計間(約三里五五分ノ一)ナリ

雄鹿原川モ上流部ハ臺地ヲ流下シ岸低ク流勢緩ニシテ河床ニ砂礫多シ橋山附近ヨリ下流ニ於テ谷迫リ岸高ク且急峻ニシテ絶壁ノ箇所多シ流下勾配急ニシテ松原川合流點ヨリ檜谷ニ至ル流路約一里ハ平均三八分ノ一ヲ有シ河床概ネ岩盤ヨリ成ル

流量ハ一般ニ夏季最濁水ヲ來シ秋季モ亦稍濁水ニ近ク春、冬二季ハ平水若ハ平水以上ノ流量ヲ有スルコト多ク最大洪水期ハ概ネ夏季七、八月頃ナリ

瀧山川流量表

Table with columns for rank, river name, measurement location, drainage area, and flow statistics (annual, maximum, average, minimum, etc.) for the Takikawa River.

三、水利及治水 上流ニ耕地稍多ク之カ灌漑用トシテ河水ヲ引用スルコト多キモ中流以下本川ニハ是等ノ關係全クナシ...

四、水力地點 選定水力地點數三、其ノ平水時ニ於ケル馬力數一五、二七六ヲ算ス

瀧山川、雄鹿原川水力地點表

Table listing water power sites for Takikawa River and Odoco River, including site number, river name, location, and power statistics.

Table for Odoco River (雄鹿原川) with columns for rank, river name, location, and flow statistics.

水力地點ノ説明

順位一、〇七八 瀧山川ニ於テ大暮川合流點ノ下流左岸ニ取入レ雄鹿原川合流點ニ放流ス用水ナシ...

順位一、〇八〇 雄鹿原川ニ於テ松原川合流點ノ下流右岸ニ取入レ瀧山川合流點ニ放流スルモノニシテ水路ハ大部分開渠トス用水ナシ...

第五節 丁川

一、流域 地形 本流域ヲ海拔高ニヨリ區分スレハ左ノ如シ

Table showing basin characteristics such as elevation, area, and flow statistics for the Chingawa River.

本川ハ太田川ノ中流ニ於テ左岸ヨリ流入スル支流ニシテ其ノ流域ハ山縣郡山廻、都谷及加計ノ一町二村ニ跨リ地勢北方ニ高ク西南ニ傾斜シ面積三二方里ヲ占ム...

林野狀態 上流部ハ耕地稍多キモ山ハ一般ニ針瀾混淆林ニシテ諸所ニ針葉樹林ヲ交ヘ其ノ狀態好良ナリ中流以下...

地目面積表

河川名	耕地		原野		山林		合計
	宅地	裸地	樹林	針葉樹林	計	計	
丁川	〇三三	〇〇〇	〇〇六	〇〇六	一〇五	三六五	三三〇
同百分率	六七	一〇	二六	二六	二五	九六	一〇〇

下ニ於テ多少亂伐セラレ粗雜林ヲ成セル所アルモ杉楡ノ植付日ヲ追ヒ増加シ其ノ發育良好ナリ

二、河川狀況 水源ヲ山廻村ニ發シテ南ニ向ヒ戸谷附近ヨリ西南ニ轉シ加計町ニ至リテ太田川ニ合ス。流路約五

丁川流量表

大正十年流量ハ大正十一年一月一日ヨリ五月十六日迄ノ資料ヲ充當シテ査定セルモノナリ

順位	番順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量						
					年次	最大	平均	低水	最小	最大	平均	低水	最小		
二八二	一	丁川	廣島縣山縣郡加計町引石	三〇〇	大正十年 大正十一年 大正十一年 八月迄	一、一〇〇	三六	一三	二〇	一八	三六	二一	一〇	六五	五八

三、水利及治水 耕地ハ比較的上流ニ多キモ都谷村ヨリ加計町ニ至ル山間部ニハ耕地少ク用水ノ引用極メテ少量ナリ流水ハ隨時隨所ニ行ハレ年約一〇〇、〇〇〇才ヲ流下ス而シテ惡水、漁業等ノ關係ナシ

四、水力地點 選定水力地點數一、其ノ馬力數ハ左表ノ通

丁川水力地點表

順位ニ(一)ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長	面積	發電率	年平均馬力數	等級
(一〇八一)	丁川	八	廣島縣山縣郡都谷村戸谷此	同	湯水 一三 低水 一八 平水 二四	四二七	六一六 八五三 一、一三八	三、一五〇	二、二九	一〇〇〇	六二六	乙

スルモノアルモ利用ノ際ハ之ヲ四個以内ニ限定シ得ヘク流水ハ里道ヲ利用シ之ヲ搬出セシメ得ル見込ナリ。本地點内ニハ廣島電燈株式會社ノ經營ニ係ル既設發電所アリ使用水量一三個、有效落差一〇尺ニシテ地點利用ニ當リテハ此ノ既設地點ヲ相當處置スルノ要アリ

第二十一章 岩國川水系

一、流域 地形 本流域ハ周防國玖珂郡、都濃郡ノ一部ト

石見國鹿足郡ノ一小部分ニ跨リテ其ノ形菱形ヲナシ東西約一里、南北約七里、面積六一・二二方里ヲ占ム。北方ハ中國山脈及其ノ支脈ニシテ最高一、〇〇〇米内外ノ高峰ヲ列ネテ石見、安藝ノ二國ト界シ西南ヨリ東南ニ亙リテ水界ノ山嶽低ク概ネ五〇〇米以下ヲ算シ其ノ地勢ハ大體西ヨリ

里ナリ

上流部ハ谷開ケ岸低ク河床勾配緩ニシテ砂礫ヲ存スルモ溝口ヲ過キ山間部ニ進ムニ從ヒ其ノ勾配ヲ増加シ河岸河床ニ岩盤ヲ露出ス流下勾配ハ都谷村字此以下平均四七分ノ一ナリ

本川流量變化ノ概況ハ左表ノ如ク略瀧山川ト同様ナリ

地目面積表

河川名	耕地		原野		山林		合計
	宅地	裸地	樹林	針葉樹林	計	計	
岩國川	一三	〇〇	〇〇	〇〇	二八	三九	九五
同百分率	二五	一〇	〇	〇	六〇	八二	一〇〇

東ニ向ヒテ傾斜ス。水源ニハ稍高峰ノ崛起セルヲ見ルモ上流部ハ一面ノ耕地ニシテ山低ク臺地ヲナス中流部ニ於テ山勢高峻ノ狀ヲ呈シ沿川深溪ヲナシ平地甚少シ地質 水源部ハ主トシテ斑岩ヨリ成リ中流部ハ一帶秩父古生層ニシテ到ル所千枚岩ヲ露出シ下流部ハ秩父古生層ニ花崗岩ヲ介在シ諸所ニ石灰岩ヲ交フ

林野狀態 水源部森林ヲ見ス上流鹿野附近ノ臺地ハ一面ノ耕地ニシテ山林ニ松樹多シ中流以下山林ハ概ネ針瀧